

平成 19 年度 A O 入試速報

国公立 51 大学、私立 391 大学で A O 入試を実施！

- 千葉大・東京工業大など、国公立大で導入相次ぐ -

旺文社 教育情報センター 平成 18 年 7 月

A O (アドミッション・オフィス)入試は、学力試験ではかりきれない多面的な人物評価を行う入試として急激に普及した。旺文社の調査によると、6 月中旬現在で、全大学の 6 割超で A O 入試を実施することがわかった。19 年度の新規実施校は国公立大 7 校、私立大 14 校で、既実施校の募集枠拡大も目につく。

全大学の 6 割超、私立大の 7 割超で実施

旺文社が全国の大学を対象に行ったアンケート結果によると、国公立大は千葉大・東京工業大・大分大など 7 大学、私立大は東京薬大・神奈川大など 14 大学で、19 年度から新たに A O 入試を導入することが判明した (6 月中旬現在)。一方、大阪薬大では指定校推薦の導入に伴い、A O 入試の実施を取りやめる。

また、既に A O 入試を行っている大学で実施学部を増やすのは、国公立大が東北大 - 医(医)・農など 3 大学(6 学部)、私立大は北里大 - 獣医、日本大 - 生物資源科学、関西学院大 - 文など 20 大学(25 学部等)。一方、東洋大 - 生命科学が実施を取りやめる。

A O 入試は、国公立大が参入した 12 年度以降で実施校が急増 (p. 4 のグラフ を参照)。19 年度の実施大学は、18 年度より 20 校増の 442 大学 (国公立私立大学合計。旺文社調査) で、全大学(711 校)の 62%と、6 割超の大学で A O 入試を行うことになる。私立大に限れば、実施校(391 校)は全体(554 校)の 71%に達する。

【 1 】 19 年度に A O 入試を新たに導入する大学 (6 月中旬現在の判明分)

国公立大学 (計 7 大学 7 学部等)

千葉大 - 教育、東京工業大 - 第 1 類、信州大 - 理、富山大 - 経済、大分大 - 経済、青森県保健大 - 健康科学、都留文科大 - 文

私立大学 (計 14 大学 24 学部)

北海道薬大 - 薬、秋田看護福祉大 - 看護福祉、了徳寺大 - 日本文化芸術、東京工科大 - メディア・バイオニクス・コンピュータサイエンス、東京薬大 - 薬、神奈川大 - 経営、新潟工科大 - 工、新潟青陵大 - 看護福祉心理、新潟薬大 - 応用生命科学、中部学院大 - 人間福祉・子ども*、帝塚山大 - 人文科学・経済・経営情報・法政策・心理福祉・現代生活、広島工大 - 工・情報・環境、高知工科大 - 工、聖マリア学院大 - 看護

<注> * は 19 年新設・改組予定の学部

【2】19年度にAO入試実施学部を増やす大学（6月中旬現在の判明分）

国公立大学（計3大学6学部等）

東北大 - 医(医)・農、広島大 - 総合科学・薬、愛媛大 - 法文・教育

私立大学（計20大学25学部等）

東北福祉大 - 子ども科学・健康科学、帝京平成大 - 現代ライフ、北里大 - 獣医、東京工芸大 - 芸術、東邦大 - 薬、日本大 - 生物資源科学、武蔵工大 - 知識工*、立正大 - 文、朝日大 - 歯、愛知学泉大 - 家政、金城学院大 - 生活環境、名古屋文理大 - 健康生活、京都精華大 - デザイン・マンガ、大阪経大 - 人間科学、大阪電通大 - 医療福祉工、関西大 - 政策創造*・システム理工*・環境都市工*・化学生命工*、関西学院大 - 文、甲南大 - EBA 総合コース、畿央大 - 教育、九州保健福祉大 - 薬

<注>*は19年新設・改組予定の学部

国公立大でも約3分の1が実施

国公立大でもAO入試実施校は年々増え、19年度は51校と全体（157校）の32%を占めるに至った。その背景として、一般選抜の“前期集中化”があげられる。18年度以降、国公立大において一般選抜で後期の募集を廃止・縮小する一方で、推薦やAO入試を導入したり、募集枠を拡大したりする傾向が強まっているのだ。

新たにAO入試を実施する国公立大のうち、千葉大 - 教育(小学校教員養成課程)では、募集人員50人中、千葉県出身者対象の地域枠(30人)を設けている。書類審査の合格者に対し、同大学の附属小学校で「交流体験試験」を課し、児童と円滑に信頼関係を築けるかどうかなどを評価する(他に課題解決レポート・面接)。その後、センター試験を受験し、高得点の3教科3科目が一定基準に達していれば合格となる。また、東京工業大では第1類(理学部)で、センター試験を課さず、「数学のみ5時間」という、数学に特化したユニークな選抜を行う。いずれも、一般選抜の後期日程の募集を取りやめる。

さらに既実施大学・学部でも、公立はこだて未来大(12人 20人)、大阪府大 - 工(9人 17人。実施学科を3 5学科に)、島根県大(若干名 20人)など、一般選抜の後期・中期の募集人員を減らし、AO入試へ振り向けるケースがみられる。

募集枠拡大・実施回数増が目立つ

上記以外の、19年度AO入試に関する主な変更点と新しい傾向を紹介しよう。

募集枠 私立大では、関西大(文40人 60人)、京都産業大(経済10人 20人、外国語9人 14人、文化4人 10人)、帝京大(薬32人 64人、医療技術60 114)、広島修道大(人文20人 43人)、松山大(経営10人 30人)でAO募集枠を拡大。この他にも、東北工大101人 148人、千葉商大365人 420人、文化女大220人 330人など、中堅校でAO募集枠の大幅増が目立つ。一方、早大では理工学部の改組(3学部)に再編を予定しており、AO入試(創成入試)の実施学科を「6 1学科」に削減する。

試験日程 実施時期は年々早まる傾向にあったが、19年度は明治大で選考日を繰り上げた(理工・経営・農で約1週間、情報コミュニケーションで約1か月)のが目立つ程度。一方で、募集回数を増やすケースが中堅校に多くみられる(例:1 2回...東北芸工大・川村学園女大・多摩大・甲南女大、2 3回...淑徳大・目白大・西九州大、3 4回...英知大)。

出願資格 出願資格は全体に緩和される方向だが、長崎大では「経済・医・薬... 2浪まで 1浪まで、工...制限なし 1浪まで」と卒業年度の制限をやや厳しくした。成績基準については、関西大 - 社会で評定平均値を 3.5 3.8 に引き上げ、関西学院大 - 経済で「評定平均値 3.5 以上」を条件に加える一方で、同じ大学内で緩和する動きも見られる（関西大 - 総合情報で 3.8 3.5、関西学院大 - 法で「学習成績概評 B 以上」を廃止）。

選考方法 AO入試は、受験生の学習意欲や個性、アピール能力などを重視するため、選考方法は実に多様だ。「エントリー（申込） 面談 内定・正式出願 合格」というパターンが多数派だが、最近は、模擬講義受講・レポート提出、プレゼンテーション（提出レポート・作品等を、面接者に対して発表） グループ討論、を課す大学・学部が増えている。

新規実施大学・学部では、信州大 - 理、北里大 - 獣医、日本大 - 生物資源科学が を、愛媛大 - 法文、立正大 - 文、神奈川大 - 経営が を、金城学院大 - 生活環境が ・ を実施する。また、既実施大学・学部では、横浜国大 - 教育人間科学、島根県大 - 総合政策、京都産業大 - 経済を新たに導入する。

倍率は国公立大 4 倍超、私立大 2 倍超か

最後に、AO入試の競争率はどの程度になるか予測してみよう。18年度の結果（旺文社集計：17年12月現在）をみると、志願者数は全体で前年比8%増え、合格者数も5%増加したものの、倍率（志願者数÷合格者数）は2.4倍 2.5倍とわずかにアップした。

また、文部科学省の調査では、大学全体のAO入試の倍率は、17年度までの5年間で1.7倍から2.0倍へ、安定しつつも徐々にアップしている（p.4のグラフを参照）。このうち、国公立大は平均して4倍前後、私立大は2倍近くを推移しているが、AO人気の高まりに比例し、19年度の倍率はほぼ同程度か、やや上回ろう。

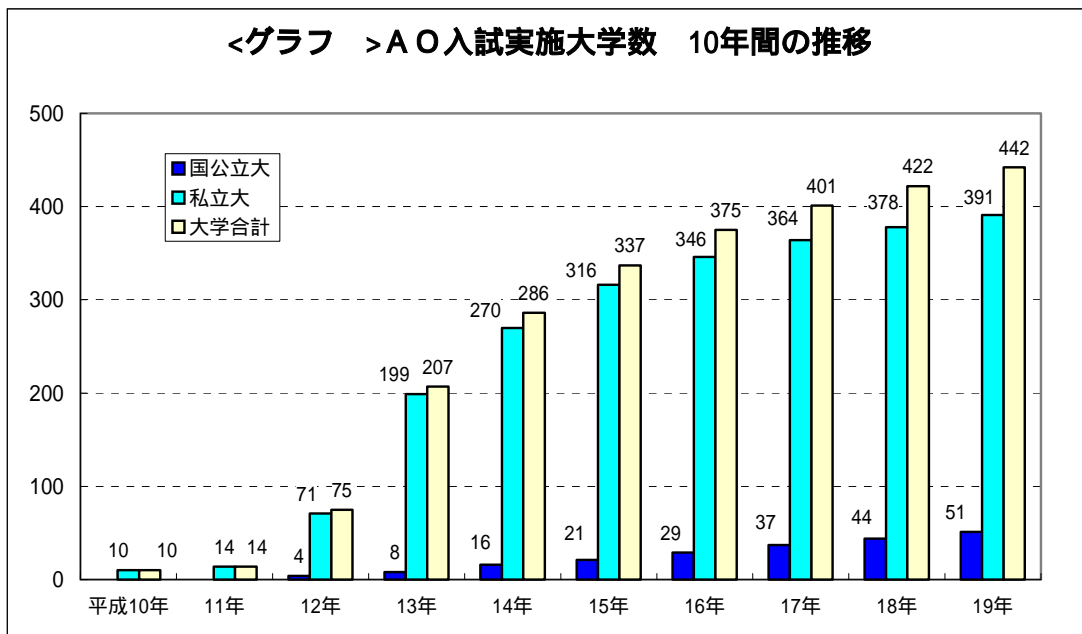
中でも、医療系や福祉系などの人気系統では高倍率になるケースが多く、19年度も激戦が予想される。ちなみに18年度は、岩手県大 - 社会福祉 6.4倍、明海大 - 歯 8.3倍、慶大 - 看護医療 15.8倍、明治学院大 - 心理 18.3倍、金沢医大 13.3倍などで高倍率を記録した。

* * *

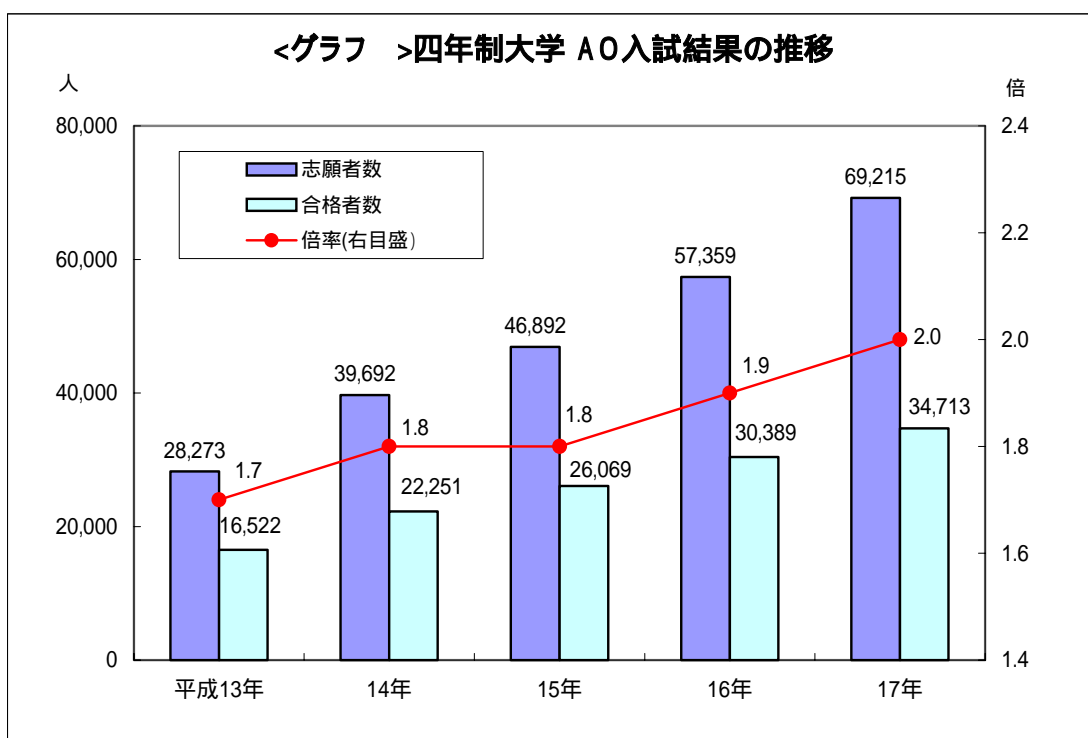
19年度AO入試実施校の入試概要（募集人員、選考方法、日程等）を、6月中旬現在までに旺文社が実施要項を入手した分について紹介する。

19年度AO入試実施校の入試概要はこちら（『旺文社大学受験パスナビ』）をご参照ください。
http://passnavi.evidus.com/search_univ/ao/

ただし、選考方法や実施日程、提出書類、出願資格等の詳細は、各大学のAO入試募集要項を取り寄せ、必ず確認してほしい。また、エントリー受付や面談は、大学主催の説明会やオープンキャンパスで行われる場合が多いので、AO入試希望者は必ず参加しよう。



(注)17年以前は文部科学省調査、18年以降は旺文社調査による。



(注)文部科学省調査、倍率は志願者数 ÷ 合格者数。